

# ここにしかない 体験を!

旅することは、新しい何かを体験すること。  
世界各地、その場所ならではの体験は多種多様。  
ぜひ、いろんな場所を訪れて、  
あなただけの「ここにしかない」体験を見つけてほしい。

食べる



マラウイ

## バオバブ・オイル

一村一品グループ支援に向けた一村一品運動実施能力強化プロジェクト

マラウイの「一村一品運動(OVOP)」は、日本の大分県の活動にヒントを得て、2002年に始まった。2005年からはJICAの支援が始まり、今では首都リロングウェにアンテナショップを構えるほか、国内での一村一品フェアの開催やトレードフェア、フリーマーケットなど地域イベントにも出展している。

小さな村から生まれる個性的な産品の中で、最近、注目を浴び始めているのが、バオバブ・オイルだ。生命の木とも呼ばれるバオバブの木。その種子から取れるオイルはビタミンEを豊富に含み、アンチエイジング効果が高いとされることから、食用はもちろんスキンケアやヘアケアなどの美容面でも期待されている。

観察する



アルバニア

## ディヴィアカ・カラヴァスタ国立公園

ディヴィアカ・カラヴァスタ国立公園参加型管理による保全と持続的利用プロジェクト

ディヴィアカ・カラヴァスタ国立公園は、アドリア海に面し、森林や砂丘など多彩な地形に恵まれている。その一方で、短い観光シーズンと違法な野鳥狩りが課題だ。そこで、同国が目しているのが、バードウォッチングだ。

カラヴァスタ湖は水鳥の生息する湿地を守る「ラムサール条約」に従って国際登録されており、特にダルマチアペリカンの営巣地としては国内随一の観察ポイントだ。この魅力を生かした自然にやさしい国立公園のモデルとして、国を挙げて整備が進められている。

日本は絵画コンクールやワークショップの開催、バードウォッチングの導入などを通じて、持続可能なエコツーリズム開発を支援している。

メキシコ

## 森が育てたコーヒー

メキシコ国チアパス州先住民関連3団体に対するコーヒーの加工・焙煎およびコーヒーショップの開店・経営に関する技術協力事業

メキシコの南端にあるチアパス州では、先住民が森の木々を生かした小さな畑でコーヒーを作っている。メキシコのコーヒー生産の約40%を占める同州は、世界でも有数の有機コーヒー産地として知られている。その一方で、学校やインフラがなく、同国でも特に貧しかったこの地域のコーヒーは、長年、流通業者に安く買い叩かれてきた。そこで日本が協力して取り組みを進めたのは、同地の高品質有機コーヒーのブランド化だ。

現在は、マヤの森で育てられたコーヒーの栽培から生豆の販売、焙煎豆の販売、そして直営カフェテリアでのコーヒー提供に至るまでを、現地の先住民農家グループが手がけている。

飲む



スリランカ

## シーギリア・ロックと古都の遺跡

シーギリアにおける地域主導型観光振興プロジェクト

スリランカ中部にある高さ200m近い岩山。「シーギリア・ロック」と呼ばれるこの岩の上には、復讐を恐れた王が築いた古い都が残されている。5世紀末に建てられたシーギリアの宮殿遺跡は、スリランカでも有数の人気観光スポットだ。宮殿へと上る階段の途中では、美女の描かれたフレスコ画「シーギリア・レディ」を見ることができる。

日本は観光強化に向けて、新博物館の整備や観光振興計画の策定と普及に貢献。地域全体の観光振興を支援した。

登る



写真：久野真一

聴く



モザンビーク

## ティンビラ(木琴)祭り

観光関連機関間のリンケージ強化を通じたデスティネーションマーケティング・プロモーション能力強化プロジェクト

ティンビラはモザンビークの伝統楽器。木とひょうたんのできた木琴だ。海沿いのインヤンバネ州で最大の祭り「ティンビラ祭り」では、この楽器で伝統音楽を夜通し演奏する。伝統舞踊も披露される、一大イベントだ。ティンビラの歌には社会問題が織り込まれることもあり、世代を超えて受け継がれた歌は歴史書の役割も果たしている。

モザンビークは歴史的建造物やビーチリゾート、サファリ、彫刻や踊りなど、観光客をひきつける魅力に事欠かない。それらを地域経済や雇用につなげるための協力が進められている。

香る



ブルガリア

## カザンラク地方のバラ園

カザンラク地域振興計画プロジェクト

東欧の国ブルガリアの名産品の一つがバラだ。「バラの谷」で知られる中央部のカザンラク地方は、世界でも有数の香水用ローズオイルの産地。5月から6月にかけての最盛期にはバラ祭りが開催され、蒸留されるバラの花の香りが辺りに満ち溢れる。また、カザンラク市近郊にある「トラキア人の墳墓」は、紀元前4世紀のヘレニズム文化を残す貴重な世界遺産だ。

この地域での観光を通じた地域振興や住民参加は、地方格差の大きいブルガリアの経済状態を改善する方法の一つとして注目されている。